

2014年度 センター試験 本試験 英語筆記

第1問

出題範囲	発音・アクセント
難易度	★★★★☆
所要時間	3分
傾向と対策	Aは基本的な問題が並んだ。[u:]と[ʌ], [éi]と[æ], [s]と[z]と、どれも発音の違いがわかりやすい組み合わせだった。単語自体も平易だったが、問3の正答率がやや低かったようだ。「ルーズ」というカタカナ語があるが、英語でlooseは「ルース」と読むことに注意する。 Bは、標準的な問題で特に難しい単語はなかったため、普段から発音・アクセントともに単語を覚える習慣がついていれば特に難しくなかったと思われる。今回も「パレード」「カテゴリー」などのカタカナ語が出題されたが、特にアクセントについては、日本語読みはあてにならないと考えておいた方がよい。問1は、paradeのアクセントを知らなくても、消去法で正解にたどり着ける。

A

問1 正解は④

解答選択肢

- ① glove [gl'ʌv] 「手袋, グローブ」
- ② onion ['ʌnjən] 「タマネギ」
- ③ oven ['ʌvn] 「オーブン, かまど」
- ④ prove [prú:v] 「証明する」

解説

④のみ長母音の[u:]で、他は短母音の[ʌ]である。正解は④。

問2 正解は④

解答選択肢

- ① casual [k'æʒuəl] 「偶然の, 無頓着な, 打ち解けた, 普段の」
- ② classic [kl'æstɪk] 「最高級の, 古典の」
- ③ habit [h'æbrɪt] 「習慣, 性質」
- ④ label [léɪbl] 「ラベル, レッテル」

解説

④のみ二重母音[éi]で、他は短母音の[æ]なので④が正解。

問3 3 正解は②

解答選択肢

- ① ease [i:z] 「容易さ, 気楽さ; 和らげる, 楽にする」
- ② loose [lu:s] 「緩んだ, ほどけている」
- ③ pause [p'ɔ:z] 「休止する, ためらう」
- ④ praise [preiz] 「褒める, 褒めること」

解説

②のみ無声音の [s] で, 他は有声音の [z] である。正解は②。

B

問1 4 正解は②

解答選択肢

- ① nov·el [náv] 「小説; 新奇な」
- ② pa·rade [pəréid] 「パレード, 行列」
- ③ res·cue [réskju:] 「救助する, 救助」
- ④ vi·tal [vát] 「活気のある, 極めて大事な」

解説

②のみ第2音節にアクセントがあり, 他は第1音節にアクセントがある。parade のアクセントの位置を見きわめるのは難しいが, 他はアクセントの位置が明らかなので, 消去法で考えればよい。

問2 5 正解は④

解答選択肢

- ① au·di·ence [ˈɔ:diəns] 「観客, 聴衆」
- ② fu·ner·al [fjú:nərə] 「葬式」
- ③ or·i·gin [ˈɔ:rədʒɪn] 「起源, 由来」
- ④ sur·viv·al [sərváivl] 「生き残ること, 生存者」

解説

④のみ第2音節にアクセントがあり, 他は第1音節にアクセントがある。正解は④。

問3 6 正解は①

解答選択肢

- ① at·mo·sphere [ˈætməsfɪə] 「大気, 雰囲気」
- ② do·mes·tic [dəméstɪk] 「国内の, 家庭内の」
- ③ e·quip·ment [ɪkwípment] 「装備, 備品」

④ re·luc·tant [rɪ'ʌktənt] 「したくない, 乗り気でない」

解説

①のみ第1音節にアクセントがあり, 他は第2音節にアクセントがある。正解は①。

問4 7 正解は①

解答選択肢

① cat·e·go·ry [k'ætəg`ɔ:ri] 「範疇, 種類」

② e·lim·i·nate [əlɪmənèɪt] 「取り除く」

③ in·ves·ti·gate [ɪnvéstəgèɪt] 「調査する」

④ pri·or·i·ty [praɪ'ɔ:rəti] 「優先, 重要であること」

解説

①のみ第1音節にアクセントがあり, 他は第2音節にアクセントがあるため, 正解は①となる。

(制作：李禕鳴, 日笠航希)

2014 年度 センター試験 本試験 英語筆記

第2問

出題範囲	会話文の語彙・文法・語法・話法
難易度	★★★★☆☆
所要時間	12分
傾向と対策	2014年度の第2問への対策は、文法・語法問題は基本的な問題集などで基礎を固めることが得点アップへの確実な方法である。定着するまで基本を充実させてほしい。Aは問5や問10のように、熟語の知識がないと手が出ない問題も含まれているので、わからなければあまり悩みすぎず、先に進むことも必要だ。 Bは、一言一句にとらわれすぎず、会話の流れや大まかな内容を意識しながら選択肢を検討しよう。Cの並べ替え問題は基本的に、うまくつながりそうな2,3の単語をつなげたものをいくつか作ってからどう並べるかを検討すると思うが、それでもどうにもならない場合は厳格な文法のルールにのっとって、「動詞はこれしかあり得ない」「canがあるからこの直後には動詞の原型しか入れない」というロジックで考えていくと、正解にたどり着ける場合もある。

A

問1 正解は②

問題文訳

昨夜、窓の外を見たら、猫が隣の家の庭に忍び込んでいるのが見えた。

解説

〈V (知覚動詞) O doing〉という用法で、「O が～しているのを V する」という意味になる。see のほか、hear や feel もこのような用法がある。選択肢の①と③は see の後ろに that が省略されていると考えたとしても、過去時制になっていないとおかしいので不適當。また、〈V (知覚動詞) O 原形不定詞〉という用法で、「O が～するのを V する」という意味になるが、〈V (知覚動詞) O to 不定詞〉というのは典型的な誤りである。したがって、④も不適當。

補足

sneak 「忍び込む」

問2 正解は③

問題文訳

運動会で初めて会って以来ずっと、パットとパムはメールのやり取りを続けている。

解説

前半の「運動会で初めて会って以来ずっと」という副詞節があるため、空欄に入る動詞は今まで継続していた動詞でないとおかしい。よって、『現在完了進行形』の「have been emailing」が適当である。

補足

ever since SV 「SがVしてからずっと」

ever since 「それ以来ずっと」

問 3 10 **正解は③****問題文訳**

母は私に、昼食を食べに出かけましょうか、それとも家で食べましょうかと聞いた。

解説

空欄のあとが完全文であるので、空欄には接続詞が入るはずである。よって、②と④は不適當。①の that も接続詞として使うことができるが、〈ask O that 節〉という用法は無いので不適當。「～か、それとも～か」という意味の接続詞 whether を使えばよい。

補足

what や which を『関係代名詞』や、『間接疑問文』を導く疑問詞として使うときは、その後ろは必ず不完全文となっている。

問 4 11 **正解は①****問題文訳**

妻は息子に私たちの夕食を作らせたかったが、私はその代わりにピザを注文した。

解説

使役動詞である have, let, make には〈使役動詞 + O + 原形不定詞〉という用法がある。したがって、原形の cook を空欄には入れるべきである。〈have O + 過去分詞形〉で O を過去分詞の状態にすることを表すため、②の cooked を入れてしまうと文法的には正しいが、息子が調理されることになってしまい、意味的には不適當である。また、〈have that 節〉や、使役の意味で〈have O to + 不定詞〉という用法はないので、③と④も不適當である。

補足

instead 「その代わりに」

- ・〈make O + 原形不定詞〉：「O に～させる」強制力がある。自分より立場が低い人に使うことが多い。
- ・〈let O + 原形不定詞〉：「O が～する許可をする、O が～するのを許す」自分より立場が低い人に許可を与える。
- ・〈have O + 原形不定詞〉：「O に～してもらう」相手に頼んでもらう。サービスを受けるときなどに使うことが多い。

問 5 12 正解は②

問題文訳

私は、私たちが土曜日に学校の体育館を自由に使えるのを当たり前なことだと思っていた。

解説

〈take O for granted〉は「O を当然なことだと思う」という意味の慣用句である。

この場合は形式目的語の it が用いられ、that 以下が真の目的語である。このように 〈take it for granted that S V〉という形もよく用いられる。イディオムではない他の選択肢を入れても文法的に成り立たない。

補足

take O for granted 「O を当然なことだと思う」

問 6 13 正解は④

問題文訳

誰がダンの誕生日パーティーを計画しているのか教えてくださいませんか？

解説

teach と tell は 〈S V O1 (人) O2 (疑問詞節)〉という形で「O1 に O2 を教える」という意味になる。また、前者は知識や技能などの高度な情報を、後者は名前や道などのちょっとした情報を教えるという意味なので、この場合は tell が適当である。①の say は単に口に出して言うというニュアンスが強く、教えるという意味はないので、ここでは不適当である。②は、〈talk to 人〉で「～に話しかける」という意味になるが、そうすると who 以下がつながらないので不適当。

問 7 14 正解は④

問題文訳

レジ係が勘定を足し合わせ、合計が2万円になったとき、私たちはびっくりした。

解説

〈add up O〉で「O を合計する」という意味の熟語になる。他の選択肢の語を入れても適切な意味をなさない。

補足

ここにおける up は副詞であることに注意。一般的に〈動詞 + 副詞〉で構成される熟語は目的語に代名詞を取るとき、〈動詞 + 代名詞 + 副詞〉という語順になる。

(例) She was shocked. Let's cheer her up. 「彼女は落ち込んでいたよ。彼女を慰めよう。」

問 8 15 正解は②

問題文訳

病院での治療費は、健康保険に入っている人ははるかに安い。

解説

fare は「運賃」、price は「モノの価格」、fee は「授業料、専門職に対する謝礼」といったように用途別に単語を使い分けることもあるが、基本的には「何かをするためにかかる費用」を表すときは cost を使う。代名詞は基本的に『関係代名詞』の先行詞にはなれないが、those は『関係代名詞』の先行詞としてはたらし、「人々」という意味を表す。

以上より、(A) は cost、(B) は those が適当。正解は②。

問 9 16 **正解は③****問題文訳**

私がかつてアメリカで2年間過ごしたが、一度もグランドキャニオンに行ったことはありません。来年行くかもしれないませんが。

解説

(A) に入るのは「かつて、昔」という意味の once である。ever は否定文や疑問文、最上級など特定の表現で使うと、「今まで」という意味になるが、本文ではいずれも含まないので不適当。visit は他動詞であるため、前置詞の to を必要としない。よって、(B) は been が正しい。

補足

「have been to」は「～に行ったことがある」という「経験」を表す。一方、「have gone to」は「～に行ってしまった（その結果、今はいない）」という「完了」を表す。両者の違いに注意。

問 10 17 **正解は④****問題文訳**

母は家計のやりくりが大変なので、不必要なものを一切私に買わせてくれない。

解説

「make (both) ends meet」で「収支を合わせる、収入内でやりくりする」という意味の慣用表現であるので、(A) は make が正しい。前半は家計をやりくりしているという内容で、後半は無駄なものを買うことを許してくれないという内容であり、明らかに順接の関係があるので、(B) には so が入る。

補足

make (both) ends meet 「収入内でやりくりする」

B**問 1** 18 **正解は②****問題文訳**

マーサ：午後は何がしたいの？

エド：うーん。あの新しい映画を見に行くのはどう？

マーサ：いいよ。三時に始まるのだよね。準備しておくわ。

エド：でもそういえば、私たち長いことテニスしてないよね。

マーサ：ちょっと！ 18 私はどっちでもいいよ。

解答選択肢訳

- ① 考えを変えなさい。
- ② 決心しなさい。
- ③ マナーに気をつけなさい。
- ④ 心を開きなさい。

解説

エドは午後映画を見に行くか、テニスをするか決めかねていることが会話からわかる。マーサは少しいら立ち、決定を促していることが予想できるので、②が正解である。

補足

make up one's mind 「決心する」

日本語の「マナー」は複数形の **manners** を使って表す。単数形の **manner** は「態度、方法」の意味である。

問2 19 正解は③

問題文訳

ユキエ：ジーン、あなた本当に疲れているようだね。どうかしたの？

ジーン：それがね、昨日の夜サリーと出かけたんだ。野球の話を始めたら、彼女止まらなくなってね。

ユキエ：あなたのほうから野球の話をしたの？

ジーン：えーと…そうだったな。

ユキエ：あらまあ。 19 彼女は好きなチームの話は決して止まらないことは知っているでしょ。

ジーン：そうだね、やっとわかったよ。

解答選択肢訳

- ① あなたが彼女の話聞いていたはずないわ。
- ② 彼女をそんなに怒らせてはいけないわ。
- ③ あなたはそんなことすべきじゃなかったわ。
- ④ 彼女を一人にすべきじゃないわ。

解説

野球の話をしたのはジーンで、彼女はそれを後悔している。ユキエはそうすべきでなかったと言っている。したがって、正解は③である。他の選択肢は、前後関係から考えて不適當である。

補足

couldn't have + 過去分詞 「～したはずがない」

mustn't + 原形 「～してはいけない」

shouldn't have + 過去分詞「～するべきでなかった (のにした)」

should have + 過去分詞「～するべきだった (のにしなかった)」

had better + 原形「～すべきだ」

leave O alone 「O を一人にする, 放っておく」

問3 20 正解は③

問題文訳

母：ジャック, さっきあなたの制服を洗い終えたけど, 洗濯機であなたの携帯を見つけたわよ。壊れているわよ!

ジャック：ああ, どうしよう。今ボブに電話しなきゃならないんだ。

母：そういうことじゃないでしょ! これ先週買ってあげたばかりでしょ!

ジャック：ああそうだね。ごめん。でもお母さん, 今どうやって彼に電話すればいいかな?

母：20 あなたの不注意については, あとで話しましょう。

解答選択肢訳

- ① 彼に新しい電話を買いなさい。
- ② 私はあなたにすぐに電話するね。
- ③ とりあえず私の携帯を使いなさい。
- ④ 彼に私を待つように言って。

解説

前文でジャックはボブに電話する方法について母に相談している。選択肢の中で, この状況でジャックがボブにすぐに電話できるのは③であるので, ③が正解である。

C

問1 21 正解は④

22 正解は⑤

問題文訳

ダン : 健康診断はどうだった?

マイク : 悪くなかったよ, でも先生に定期的に運動したほうがよいと言われたよ。

解説

選択肢の動詞の中で唯一過去形なのは①なので, この文の動詞になるのは advised とわかる。続いて, 選択肢に to や get という動詞の原形があることから, 〈advise O to 原形不定詞〉という用法が使われていることが想像できるだろう。O に入るのは人を表す名詞なのでこの場合 O に当たるのは me であることもわかるだろう。残った「regular exercise」が get の目的語になる。よって, 下線部と空欄を埋めると「the doctor advised me to get regular exercise」となる④と⑤が正解である。

補足

health check 「健康診断」

regular 「定期的な」

exercise 「運動」

advise 「アドバイスする」 cf. advice 「アドバイス, 助言」

問 2 正解は③ 正解は⑥**問題文訳**

ケン：あなたは両親が留学を許してくれると思いますか。

ペグ：わからないけど、説得できればいいなと思っています。

解説

空欄の前に主語になる I が現れているので、空欄以下はその述語部分であるはずである。しかし、選択肢の中に I があることと、I は主語にしかなり得ないことから、空欄部分に I が主語になる節が存在することがわかる。選択肢の中に節を作ることできる単語は hope だけである。

また、文脈、および talk と into という二つの単語があることから考えて、「O を説得して A させる」という意味の〈talk O into A〉という熟語を用いる問題だと気付きたいところだ。他の選択肢の中で O になり得るのは them のみであるので、「talk them into it」となる。

よって、下線部と空欄を埋めると「I hope I can talk them into it」となり、③と⑥が正解である。

補足

study abroad 「留学する」

talk O out of A 「O を説得して A させないようにする」

問 3 正解は① 正解は④**問題文訳**

カズキ：ペニー、私は今晚遅くまで仕事しなくてはいけなくて、午後 10 時前に帰れないかもしれない。

ペニー：今晚雨が降るよ。傘を持たずに雨に降られることのないようにしてね。

解説

Don't から始まっているので、次には必ず動詞の原形が来るはずである。選択肢の中で動詞の原形は get と rain であるが、カズキがペニーに「雨を降らせるな」や「降るな」と命令するのはおかしいので、Don't のあとには get が続く。「be caught in A」という熟語は「A (雨など) に襲われる、A に遭う」という意味でよく使われる。これを、get C (C は形容詞か過去分詞) の形で「C になる」という一時的な状態の変化を表す get に合わせれば「get caught in」となる。当然 in には the rain が続く。without は最後に置き、「傘を持たずに」となる。

よって、「Don't get caught in the rain without an umbrella」となり、①と④が正解である。

(制作：李禕鳴，日笠航希)

2014 年度 センター試験 本試験 英語筆記

第3問

出題範囲	八つの会話文から読み取る会話内容と文脈の把握
難易度	★★☆☆☆
所要時間	13分
傾向と対策	2014年度の第3問は、Aは会話文中の語句の意味を推測する問題だった。ただし、問1も問2もともに単語自体そんなに難しいものではなかったので、会話文を読まずに解けた人もいたのではないだろうか。また、文章も予測しやすい平易なものだったので解きやすかったはず。Bは例年通り、不要な文を取り除く問題だ。問1と問3は特に正答率が高かったようだ。3問とも文章全体の趣旨を捉えることができれば、正解にたどり着けるはずだ。Cも例年通り文章要約の問題だ。今回は文章の内容が、比較的なじみ深いものだったので解きやすかったのではないか。

A

問1 正解は②

問題文訳

ジェーン：ミシェルはどう？ 彼女と最後に会ったとき、少し気落ちしているように見えて、勉強が心配だと言っていたから。

メアリー：昨日会ったけど、元気はつらつという感じだったわよ。

ジェーン：本当？ 何があったのかしら。

メアリー：ミシェルは数学のテストのことが心配だったのだけれど、結局すごく良くできたのよ。それと、とても楽しいバイトを見つけたって。

ジェーン：それはよかった。それを聞いて私もうれしいわ。

この場合、exuberant はとても という意味だ。

解答選択肢訳

- ① 忙しく、ストレスが溜まっている
- ② 幸せで、元気である
- ③ 勤勉で、健康である
- ④ 動揺していて、神経質になっている

解説

ジェーンが最後に会ったとき、ミシェルは勉強が原因で気落ちしていたが、メアリーが昨日会ったときにはジェーンが「何があったのかしら」と返すほどの変化があったのだ。その後のメアリーの発言をみると、その間に二つもいいことがあったのだということが読み取れる。心配だった数学のテストはうまくいき、楽しいバイトも見つ

けた。このことにジェーンも喜んでいることから、気落ちしていたミシエルの心境がプラスの方向に動いたことが推測される。

よって、四つの選択肢のうちマイナスの内容になっている①と④をまず消去できる。また、③の「勤勉で、健康な」はミシエルの状況にあまり当てはまらない。数学のテストができたというのは「勤勉」に当たるのかもしれないが、バイトを見つけたことには当たらないし、「健康」に関しては本文中でまったく言及されていない。それよりも、「気落ちしている」の反対の意味になる②を選ぶのが妥当だろう。正解は②である。

補足

depressed 「気落ちして」

hard-working 「勤勉な」

schoolwork 「学業」

upset 「取り乱して」

absolutely 「まったく、実に」

nervous 「神経質な」

stressed 「ストレスを感じている」

問 2 28 正解は④

問題文訳

ジェイコブ：夏の予定はどうなっているの？ 友達と南アメリカを廻るって聞いたよ。

ヒロミ：それが、私は旅行の手配は全部済ませたし、スペイン語の勉強もしていたし、荷物まで詰め始めていたの。

でも、友達が急に行けなくなったって言い出したのよ。それでおじけづいて旅行をキャンセルしちゃった。

ジェイコブ：それは気の毒に。(君が) 不安になって一人で旅行する気がなくなったのは残念だよ。

この場合、got cold feet は 28 という意味だ。

解答選択肢訳

- ① 病気になった
- ② わくわくした
- ③ 自制心を失った
- ④ 勇気がなくなった

解説

ヒロミのセリフの前半から、彼女が南アメリカ旅行を楽しみにしていた様子が伺える。しかし、一緒に行くはずだった友達が急に旅行に行けなくなってしまい、28の結果、旅行をキャンセルしてしまった。旅行をキャンセルした原因は「got cold feet」にあることがわかる。まず、旅行をキャンセルするのに②の「わくわくした」はふさわしくなく、消去できる。また、ジェイコブの返答から、ヒロミは一人旅が不安になったことがわかる。ここで、ジェイコブはヒロミの最後のセリフを言い換えているのだ。よって、「不安になった」と最も意味が近い選択肢が正解となるので、④の「勇気がなくなった」を選びたい。ここで注意すべきなのは、②における「thrilled」は「excited」に近い意味であり、日本語でいう「スリルがある、スリリングな」とは用法やニュアンスが違うということだ。②が「怖くなる」という意味ではないことに気を付けよう。

①「病気になった」も③「制限を失った」も「不安」とはあまり関係のないことだ。

補足

arrangement 「手配」

pack 「詰める」

it's a shame that SV 「SVは残念だ」

anxious 「心配して、不安で」

thrilled 「わくわくして」

courage 「勇気、精神力」

B

問1 29 正解は①

問題文訳

子どもは、3歳から5歳にかけてたくさんの質問をするようになる。①この年齢の子どもの平均体重は12キログラム以上ある。②親がどう子どもの質問を扱うのかが大切だ。③ある親は、子どもの成長を誇らしく思い、子どものすべての質問に喜んで答えるかもしれない。④こうすることで、子どもたちは、想像力を駆り立て、より創造的になるように促されるのだ。一方、もし親が質問に答えるほど忍耐強くなければ、子どもは物事に関して好奇心を持つべきではないと思ってしまうかもしれない。結果として、子どもは新しい活動に挑戦することに臆病になり始めてしまうかもしれない。

解説

この文章は3つの部分に分けることができる。まず、第3文まで（パート1）は、3～5歳にかけての子どもが質問をするようになり、それに対する親の反応が大切だと述べている。次に、第4、5文（パート2）で質問に積極的に答えた場合を、第6、7文（パート3）で質問に消極的に答えた場合を述べている。そして、パート2とパート3は内容的に対になっていることがわかる。

パート3には下線部がないため、第6、7文は両方ともこの文章に必要な。第6、7文では、親が子どもの質問に答えなかった場合（仮定）、子どもは好奇心を抑えるべきだと認識し、新しいことに挑戦することを躊躇するようになる（子どもの反応）、と言っている。

このように、パート3まで読んでみるとこの文章全体のテーマは、「子どもの質問に対する親の応答と、それに対する子どもの反応」であり、その導入部分であるパート1の第2文（①）だけ「子どもの体重」と、急に「子どもの質問」と関係のない内容になっている。

他の選択肢についても考えてみよう。パート1の第3文（②）は文章全体のテーマに即しているので問題はなさそう。パート2とパート3は対なので、パート2でも「仮定」と「子どもの反応」の両方の要素が必要になってくる。第4文目（下線③）では「ある親は、子どもの成長を誇りに思い、子どもの質問全部に答える」と書かれており、これは「仮定」に当たる。また、第5文（④）では、「そうすると子どもはより創造力に富む」とあり、これは「子どもの反応」に当たる。つまり、第4文（③）も第5文（④）も不可欠な要素だ。以上より、取り除いた方がよい文は①である。

補足

encourage O to do A 「OにAするように励ます」

creative 「創造的な、創意に富んだ」

on the other hand 「一方で」

curious 「好奇心が強い、好奇心旺盛な」

nervous 「臆病な、緊張して」

問 2 30 正解は③

問題文訳

田舎暮らしと都会暮らし、どちらがお好きだろうか？①国連の調査によると、この惑星に住む 70 億人の人のうち、半分の田舎に暮らしている。しかし、都市部に移ってくる人がどんどん増えている。②35 年以内に世界人口の約 3 分の 2 が都会に住むだろうと予想されている。③都会のマンションに住むのは便利だが、時に寂しいものである。④都会は混雑しすぎてとても住みづらい場所になる可能性が高い。そうは言っても、近年の人口動向のせいで、近いうちにどこに住むかについての選択肢がなくなってしまうかもしれない。

解説

まず、第 1 文で「田舎と都会のどちらに住みたいか」を聞いたあと、すぐに However から始まる文が続くと、前の内容と何を対比しているのかがわからず不自然なので、下線①を取り除くことができないのは明白だ。第 3 文で「しかしながら都市部に住む人の数が増えてきている」とあるので、その前には「都市部に住む人の数はそんなに多くない」といったような内容の文があるべきだという点からも下線①が不可欠だと言えらる。

第 3 文と最終文で「人口が増加している」という根本的な論調が一致しており、下線②～④に文全体にかかるような逆接表現がない（③の but は convenient と lonely を対比させているだけなので当てはまらない）ことを考慮すると、第 3 文から最後までずっと同じ内容が繰り返されているのだと考えて構わないだろう。

しかし、②～④を見てみると③以外はあくまでも人口を原因として物理的に都会に住めなくなるという目に見える話をしているのに、③だけが「都会に住むことで人の心はどうなるのか」という精神的な話題に移ってしまっているため、取り除いた方がよい文は③である。

補足

survey 「調査」

billion 「10 億」

countryside 「田舎；地方」

urban 「都市」

estimate 「推定する」

two thirds 「3 分の 2」

lonely 「寂しい；孤独な」

having said that 「そうは言ったが（= despite what I have just said）」

due to A 「A が原因で」

trend 「動向」

問 3 31 正解は②

問題文訳

ほんの少し注意するだけで、金魚はあなたが予想していたよりもはるかに長く生きることができます。最初に、予算の許す限り最大の水槽を選び、小石や植物などの物で装飾しましょう。①ただし、魚を傷つけてしまうかもしれないような尖った物は水槽に入れないようにしましょう。次に、数分間で魚が食べられる分だけ餌をやり、

食べ残しはすぐに取り除きます。②そのうち、手から餌付けできるようにしつけられます。③最も大切なことは、少なくとも2週間に1回は水槽をきれいにし、水を交換することです。④魚が新しい水に慣れやすくするために、水を全部変えてしまうよりも部分的に交換する方がはるかに良いのです。これらのことをすべてやることで、金魚が「黄金時代（老年期）」まで生きることができるでしょう。

解説

この文章は「金魚を長生きさせるためにすべきこと」がテーマだ。ここでは三つのポイントが挙げられている。まず、金魚の水槽の環境について。下線①は前文の「可能な限り大きな水槽を買い、小さい石と植物を入れること」に続き、金魚が長生きするための注意事項となっており打倒な流れと言える。次に、餌やりについて。「残った餌はすぐに取り除くこと」とあるので、この後に③（水槽の清掃と水質）に続くのは自然な流れとなる。最後に、水について。③は上に述べたように自然につながるし、④は「部分的な交換の方が望ましい」と補足説明しているところになるので、③からの流れに自然につながる。

ところが、②は明らかに金魚が長生きするために必要でない事項を述べており、異質だ。よって、取り除いた方がよい文は②が正解。「First, Second, the most important thing is (= most importantly)」のように、論理の流れを構成する目印が付いていることに注目したい。

補足

goldfish 「金魚」

tank 「水槽」

afford 「(金銭的に) 余裕がある」

decorate 「飾る」

sharp 「尖った, 鋭い」

feed 「食べ物を与える, 餌をやる」

remove 「取り除く」

leftover 「食べ残しの」

once every two weeks 「2週間に1度」

adjust to A 「A に適応する」

partial 「部分的な」

survive 「生き永らえる」

golden years 「黄金時代, 老年, 熟年」

C

32 正解は③

問題文訳

テッド：ここ20年間私たちの学校ではフランス語とスペイン語の授業を提供してきました。しかし、時代は変わり、生徒の需要を再評価しなくてはいけないのかもしれませんが。英語が国際共通語になったために、英語のネイティブスピーカーは外国語の勉強をする必要がない、と言っている人もいます。このことについての皆さんの意見を聞きたいのです。

ジェニファー：多くの企業が国際化してきているなか、外国語を知っていることは職場ですます有用になってきています。ビジネスの際、他国の人と交渉しているとき、相手があなたの国の言葉を知っていて、あなたが相手の国の言葉を知らないのはどう考えても不利です。また、外国語を学ぶことで、世界のいろいろな地域出身の人の、さまざまな慣習や文化的価値観を生徒たちは学ぶことができます。このことは、ビジネス上

の人間関係を円滑にできます。

テッド：つまり、ジェニファーさん、あなたは **32** と言っているのですね。

解答選択肢訳

- ① 英語はビジネス界で最もよく使われる言語だ
- ② ビジネスで外国語を使うのは不利だ
- ③ 外国語を知っていると、実用的で、自分の仕事に関係する恩恵がある
- ④ ビジネススキルを学ぶことは、外国語の習得に役に立つ

解説

ジェニファーの発言の第1文目で、外国語を学ぶことは仕事の場面で有用だと言っている。具体的には、仕事相手の国の言葉を知らないと不利だ（第2文目）ということ、外国語を学ぶとさまざまな慣習や価値観を学べる（第3文目）こと、ビジネス上の関係がうまくいく（第4文目）という点を挙げている。つまり、外国語を学んでいれば、交渉がうまくいき、仕事相手の背景を知ることができるので、仕事上の関係を円滑に進めることができる、と考えているのである。こうなれば、仕事もうまくいくと推測できることから、③の「実用的で自分の仕事に関係する恩恵がある」が適切であり、③が正解となる。

- ①→テッドが英語は国際共通語だと言っているが、ビジネスで一番使われている言語だとは一言も言っていないので不適當。
- ②→ジェニファーは、外国語を知っていると職場でますます使えると述べている。つまり、ビジネスで外国語を知っているのは有利ということになり、矛盾しているので②の記述は不適當。
- ④→外国語を学ぶことがビジネスに役立つのであって、ビジネスの技術を学ぶことが、外国語の学習に役立つとは書かれていないので不適當。

33 正解は①

問題文訳

デーヴィッド：私はジェニファーに賛成で、さらに中国語の授業を提供することを提案します。中国は急成長している経済国ですし、将来世界最大の経済大国になるでしょう。また、ほかのどの言語よりも中国語のネイティブスピーカーの人数は多いと思います。フランス語とスペイン語に加え、中国語の授業も行うべきかもしれませぬ。

マリア：あなたが言いたいことはわかるけれど、中国の事情に精通するためには、中国語を読める必要があるが、それには少なくとも3,000から4,000もの漢字を何年もかけて習得することが必要でしょう。フランス語とスペイン語の授業を提供し続けるほうがまだ現実的です。これらの言語は英語と何らかの形で関係しているので、同じ語源の言葉もたくさんあって、言語を学ぶ過程が（中国語を学ぶよりは）難しくありません。

テッド：つまりマリアさんは **33** と考えているのですね。

解答選択肢訳

- ① 英語のネイティブスピーカーにとってはフランス語とスペイン語を学ぶほうが簡単だ

- ② 中国は経済が急成長しているため、中国語が最も使える言語になるだろう
- ③ 中国は人口が最も多いので、中国語を学ぶのは有用だろう
- ④ フランス語かスペイン語を知っていると、他のヨーロッパ言語を学びやすくなる

解説

①が正解。ジェニファーは発言の2文目で、英語とフランス語・スペイン語は似ているからフランス語とスペイン語を学ぶのは中国語を学ぶより簡単だと言っている。誰にとってフランス語とスペイン語を学ぶ方が簡単か、はこのことから明らかである。英語と似ているから簡単なら、英語を知らない人にとっては簡単ではない。よって、「誰にとって」は「英語話者にとって」となり、つまりは英語のネイティブスピーカーにとって簡単なのだ。

②→デーヴィッドが2文目で言っていたことで、マリアの意見ではない。

③→デーヴィッドが3文目で言っていたことで、マリアの意見ではない。

④→英語を知っていると、フランス語・スペイン語を学びやすいとは言っているが、フランス語・スペイン語と他のヨーロッパ言語の関係についての記述はない。

34 正解は①

問題文訳

レスリー：私は、どの言語が生徒にとって最も価値のあるものになるのかははっきりとはわかりません。でも、外国語を学ぶことは、生徒が自分の言語と文化を意識する手助けになります。私たちの多くは母国語を深く考えずに使い、文化に関わる多くの思い込みをします。しかし、最も大切なことは、外国語を学ぶことを通して、さまざまな観点から物事を見るのがもっとできるようになるということです。

テッド：レスリーさん、とても面白い点ですね。外国語を勉強する最大の利点は、生徒の 34 を増やすことができることにあると言っているのですね。

テッド：あなたたちの意見が聞いて感謝します。生徒向けのアンケートを用意して、彼らの興味や将来の目標を知ろうとするべきなのかもしれませんね。

解答選択肢訳

- ① いろいろな観点から物事を考えることができる能力
- ② 自分の言語や文化を理解したいという欲求
- ③ 他の言語の構造や文化の知識
- ④ 国際的なビジネスで成功する機会

解説

①→レスリー発言の4文目が、「But most importantly」で始まることに注目したい。ここで「何よりも」といっているのが、これ以下の内容がレスリーの言いたいことだとわかる。「外国語を学ぶことで、物事をさまざまな視点から見るができるようになる」と言っているのが①が正解。

②→レスリーの2文目で、外国語を学ぶことで自分の言語や文化を意識するようになるとは言っているが、理解したいという欲求が増えるわけではない。どちらにせよ、レスリーが最も言いたいことは「But most

importantly」なので、これは不適當。

③→言語の構造については一切述べられていないので不適當。

④→ビジネスについて言っているのは、ジェニファーなので不適當。

補足

reevaluate 「再び評価する」

global language 「国際共通語」

globalization 「国際化」

increasingly 「ますます」

negotiate with A 「A と交渉する」

disadvantage 「不利な状態, 不都合なこと」

smooth 「円滑にする」

practical 「実用的な」

career-related 「経歴に関する, 職業に関連する」

contribute to A 「A に貢献する, A の一助となる」

fast-growing 「成長の速い」

economy 「経済国」

along with A 「A に加えて」

well-informed 「事情に通じている」

character 「文字, 字体」

practical 「現実的な」

somehow 「何とかして, 何らかの方法で」

process 「過程」

assumption 「推定, 決めてかかること」

perspective 「観点」

point of view 「観点」

appreciate 「感謝する」

questionnaire 「アンケート」

sense 「意向, 見解, 感じ」

(制作：峯岸佑奈, 日笠航希)

2014 年度 センター試験 本試験 英語筆記

第4問

出題範囲	住民報告書とマラソン大会資料の読解
難易度	★★★★☆
所要時間	16分
傾向と対策	<p>2014年度の第4問、Aはアメリカの「磁石型」と「粘着型」の州に関する資料の読解が出題された。「磁石型」「粘着型」というあまり耳慣れない用語が使われ、かつそれらの定義を理解しなくてはならないというのは、混乱を招く内容であったと思われる。問1では特にその理解が問われ、ここで間違える人が多かったかもしれない。グラフの空欄を埋める問題であった問2は「opposite end」など、グラフの順位が逆の位置にあることはどういう意味なのかを理解して解く必要があった。問4も間違えやすい問題であろう。特に①と③で迷う人がいるかもしれない。しかし、③の内容は最終段落の一例として挙げられているだけであり、最終文にあるならまだしも、途中に出てきているので続く話題としては不相当であると理解したい。この問題は、最終段落の最初の文で、離れる者と留まる者のそれぞれの理由が述べられるということを読み取れば解ける問題である。</p> <p>Bは、マラソン大会に関する広告である。まず問1では、問題文中の「NOT」を読み落とさないことが大事である。それぞれの選択肢は巧妙に広告の英文を言い換えており、読み間違えて正しい内容の選択肢を選んでしまわないように注意する必要がある。問2は頻出の料金問題だが、かなり条件に絡めてきているので、すべての条件を落とさないようにしなければならない。問3については広告内の情報から直接読み取るだけでなく、広告の情報を別の表現で置き換えをしなければならないので注意が必要だ。全体的に解答しづらい問題であったかもしれない。</p>

A

本文訳

磁石型と粘着型：アメリカ国内における州の間の移動に関する調査

生まれた土地の近くで一生を過ごす人もいれば、他の場所に移る人もいる。ピューリサーチセンターによって実施された調査は、アメリカ人の州と州の間での移動パターンを調べた。どれくらいの成人市民が他の州からその州に引っ越してきたかを決定させるために、その調査はそれぞれの州を調べた。調査書の中では、このような市民が高い割合で存在する州は「磁石型」の州と名づけられた。その調査はまた、それぞれの州において生まれた成人の何パーセントが現在もその州で生活をしているかも調べた。この人数が多い州は「粘着型」の州と名づけられた。調査は、磁石型でも粘着型でもある州も存在するが、一方でどちらでもない州もあることを発見した。磁石型のみ、あるいは粘着型だけの州もあった。

図1と図2は、抜粋されたいくつかの州がそれぞれ磁石性と粘着性においてどのような位置づけにあるかを示している。フロリダは、どちらの型においても高い順位を占めている州の良い例だ。現在の成人人口の70%が他の州で生まれた。それと同時に、フロリダで生まれた成人の66%が現在もそこに住んでいる。一方で、ウエスト

バージニアは磁石型（たったの 27%）でもとりわけ粘着型（49%）でもない。つまり、ウエストバージニアには移住者がほとんどおらず、移住していないウエストバージニア出身の人も比較的少数だ。ミシガンは粘着性が強く、磁石性がとても低い州の典型例である。反対に、アラスカは、磁石性の度合いでトップに近い順位を占めているが、すべての州の中で最も粘着性が低い。

図1と図2の中で極端な例として表れている州が他に三つある。一つはネバダ州で、他州で生まれた成人住民の割合が高いため、アメリカで一番の磁石型である。ニューヨーク州は、他の国からの移民を引きつけるが、磁石性の度合いでは正反対の位置を占めている。三つ目の極端な例はテキサス州で、粘着性でアラスカ州と正反対の位置にある。その磁石性はかなり低いが、テキサスは国内で最も粘着性が高い州である。

調査はさらに進んで、なぜ「引っ越す者」が彼らの生まれた州を離れ、「留まる者」が残るのかという理由を調べている。引っ越す者に関しては、他の州に引っ越すという決断に影響を与える単一の要素は存在しない。引っ越すことに対して彼らが与える最も一般的な理由は職探しや職業上の機会である。他の人は個人的な理由で引っ越すと報告している。それは家族の絆や、子どものために良い共同体に暮らしたいという願望、あるいは退職などである。

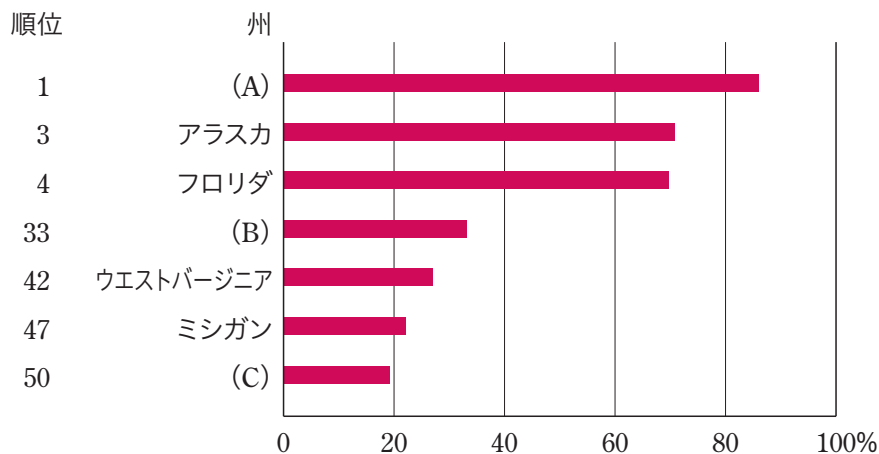


図1 磁石性（選ばれた州）

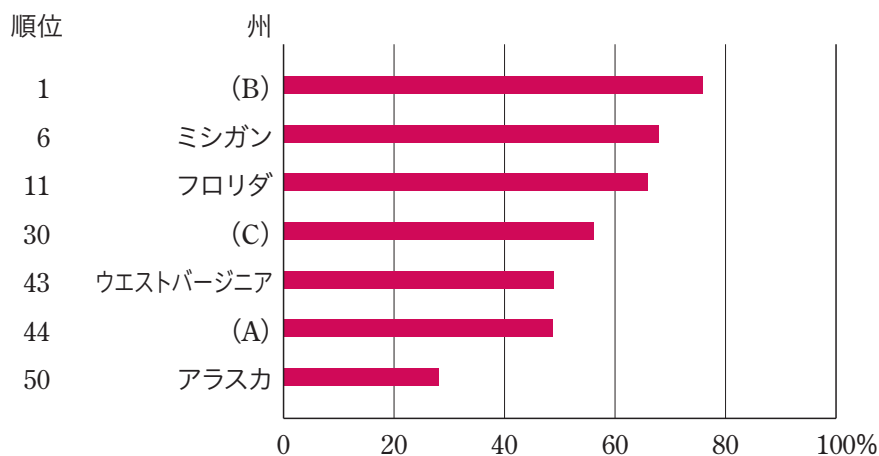


図2 粘着性（選ばれた州）

問1 35 正解は④

問題文訳

州が磁石型であるとき、35。

解答選択肢訳

- ① そこで生まれた成人のほとんどがその州に残っていない
- ② そこに暮らしている成人で、他の州で生まれた人はほとんどいない
- ③ そこで生まれた多くの成人がその州に残っている
- ④ そこに暮らしている成人の多くが他の州で生まれた

解説

この文章は、アメリカ国内における州間での移動の傾向から、その州が「磁石型」か「粘着型」かということを中心に議論している。最初の段落で、磁石型と粘着型に対する説明がなされている。第3文目から第4文目に「The study examined each state to determine how many of their adult citizens have moved there from other states. States with high percentages of these residents are called “magnet” states in the report」とある。ここから、ある州が「磁石型」であるとは、「ある州で暮らしている成人の中で他の州から来た人の割合が高い」ことである。よってこれに合致するのは④で、正解は④である。ある州で生まれた成人がその州に留まっている比率が高いか低いかは sticky, つまり粘着性に関する議論であるので、①と③は不適当である。また、②は磁石性が低い州の特徴であり、磁石型である州の描写にはならない。

問2 36 正解は②

問題文訳

図1と図2で (A), (B), (C) で表されているのはどの3州か？

解説

ネバダ、テキサス、ニューヨークの3州が話題になっているのは3段落目からである。ここに注目する。まず、ネバダについての記述「The first is Nevada, where the high proportion of adult residents born out of state makes this state America’s top magnet」がある。下線部に「ネバダはアメリカで一番の磁石型」と書かれているので、ここは迷わず (A) にネバダを入れ、回答を①と②に絞る。直後にニューヨークに関する記述「New York is at the opposite end of the magnet scale」があるが、下線部に「磁石性で反対の位置」とあり、ネバダの高い磁石性の順位との比較が述べられている。よって、ここでニューヨークを (C) に入れて、正解を②に確定することもできる。不安であれば、次の文に「The third extreme example is Texas, at the opposite end of the sticky scale from Alaska」とあり、またその次の文に「Texas is the nation’s stickiest state」とあるのに注目する。それぞれ下線部で「テキサスは粘着性においてアラスカとグラフ上で反対の位置にある」、「国内で一番の粘着型である」と述べられていることから、図2を参照して、(B) にテキサスを入れることができる。よって、正解は②となる。

問3 37 正解は①

問題文訳

この文章の主要な目的は 37。

解答選択肢訳

- ① アメリカ人の移住におけるさまざまなパターンを説明することである
- ② なぜ一部の州が他の州よりも人気が無いかを説明することである
- ③ そこで生まれた成人の割合が大きい州をリストアップすることである
- ④ ピューリサーチセンターがどのようにデータを集めたかを報告することである

解説

この文章では、まず1段落目で州の間の移動に着目して、そのパターンから「磁石型」の州と「粘着型」の州に分類していることが説明されている。2, 3段落目では、いくつかの州を例に挙げて、それぞれの州の磁性や粘着性がどうであるかを、図1, 2にもとづいて説明している。4段落目では州を離れるいくつかの理由を提示している。このような文章の流れから、最も適当な選択肢は①であることがわかる。

②は、この問題文はおもに人の流れに着目しており、州の人気度は取り扱っていないため不適当である。③は、問題文ではそこで生まれた成人の割合が大きい州だけでなく、割合が小さい州、またその州で暮らしている成人のうち、他州出身の割合が大きい州や小さい州など、さまざまな州が取り上げられており、とりわけ③の選択肢にあるような州を提示しているわけではなく、この文章の主要な目的とは言い難いので不適当。④は、文章中で用いられたデータはピューリサーチセンターの調査によるものではあるが、そのデータの集め方については触れていないので不適当。

問4 38 正解は①

問題文訳

最後の段落のあとに続くであろう話題はどれか？

解答選択肢訳

- ① 一部のアメリカ人がなぜ自分が生まれた州に留まるのかという理由。
- ② 他の国からの移民を引きつけるような州。
- ③ 他の州で、引っ越す者が求めている職業の種類。
- ④ 磁石型の州の共同体において子どもを育てる方法。

解説

最終段落における冒頭の文で、「The study went on to explore the reasons why “movers” leave their home states and “stayers” remain」とある。下線部は、出身州から離れる理由と出身州に残る理由がこのあとに続くことを示している。直後の文の冒頭で「As for movers」とあり、離れる理由がまず述べられ、これが文章の最後まで続いている。よって、この文章の後ろに続くべきは「出身州に残る理由」であるので、①が正解となる。②に関しては3段落目にニューヨークが移民を引きつけること、③は最終段落で引っ越す者が職業を探し求めるがために出

身州を離れること、④は同じく最終段落で出身州を離れる理由として個人的な理由の一つに子育てのために良い環境を求めているなど、それぞれ関連のある部分は存在するものの、いずれも主要な話題の中での例示であり、その例示を取り上げて最終段落のあとに続けるのは少し唐突で不自然であるため、いずれも不適當。

補足

conduct 「行う」

respectively 「それぞれ」

current 「現在の」

relatively 「相対的に」

typical 「典型的な」

resident 「住民」

proportion 「比率, 割合」

attractive 「魅力的に見える」

immigrant 「移民」

tie 「絆, つながり」

desire 「願望」

look into A 「A を調べる」

occupation 「職業」

B

問題文訳

第28回レイクビルマラソン

2月26日, 2015

申し込み

- > 期間：8月1日～8月31日, 2014 (遅れて申し込まれたものに関しましては受理いたしかねます。)
- > レース当日の時点で16歳以上である方ならどなたでも参加を申し込むことができます。
- > ネット申し込みのみです。
- > 一人当たり一回の申し込みです。複数回の申し込みは自動的に却下されます。
- > 虚偽の個人情報を申告したいかなる場合も失格となります。

選考

- > 残念ながら、レイクビル運動場の規模により、すべての申し込みが受理されるわけではありません。
1万5,000人のランナーが抽選によって決まります。
- > 申し込みをした方には当選または落選をお知らせするお手紙が10月中旬に届きます。

支払い

- > ネット上でのクレジットカードによる支払いのみです。
- > 申し込み費は返金することができません。いかなる場合でもです。
- > 参加費は抽選によって選ばれた人にのみ課されます。

レース当日

- > 受付：7時に開始します。全参加者に写真つきの身分証明書（運転免許証やパスポートなど）と当選を記した手紙をレース当日に提示していただきます。
- > レースのスケジュール：8時開始 / 16時終了（指定された時間に完走することができなかったランナーは走行

を中止させていただきます)

お問い合わせ：marathondes@lkve.com にご連絡ください。

部門	申し込み費*	参加費**
未成年 (16 歳から 17 歳)	15 ドル	25 ドル
成人 (18 歳から 64 歳)	15 ドル	50 ドル
シニア (65 歳以上)	15 ドル	15 ドル

* レイクビルに住んでいれば申し込み費がかかりません！

** 直近 2 回の레이크ビルマラソンのうちのどちらかに参加している場合は 5 ドル割引です！

問 1 39 正解は②

問題文訳

申し込みに関して、以下の記述のうち正しくないのはどれか？

解答選択肢訳

- ① 8 月中に申し込みをしなければならない。
- ② 申し込み時に最低 16 歳でなければならない。
- ③ ネットを通じて申し込みをしなければならない。
- ④ 一回しか申し込みをしてはならない。

解説

申し込みに関する問題なので、ウェブサイトの中で APPLICATION (申し込み) の項目に注目する。まず、①に関して、申し込みの中の第 1 項で Period (申込期間) が「August 1-August 31」(8 月 1 日～8 月 31 日) とあり、さらにその直後に「NO late application will be accepted」(遅れて申し込まれたものに関しましては受理いたしかねます) とあることから、8 月中に申し込みをしなければならないことになるので、①の記述は正しい。

第 2 項で「Anyone 16 or older on the day of the race may apply」とあり、下線部に注目すると、申し込み時に 16 歳ではなくレース当日に 16 歳以上であればよいので、②は正しくない。よって、正解は②となる。

第 3 項で「Online applications only」とある。よく広告や要項では A only (A のみ可能、A だけしか入っていない) などたった一つという条件を示す際に最後の only をつけることがある。この場合「オンライン申し込み」つまりネットを通じた申し込みのみ可能であるので、③の記述は正しい。

第 4 項で一人あたり一回の申し込み、また Multiple applications (複数の申し込み) は、automatically rejected「自動的に拒否される」ことから、一回しか申し込みができないので④は正しい記述である。選択肢の中の「no more than A」は「たった A, わずか A」の意味で、今回の場合「must submit no more than one application」は「たった一つの申し込みをしなければならない」、つまり「一回しか申し込みしてはならない」という意味になる。

問 2 40 正解は①

問題文訳

第 26 回マラソンに参加した、レイクビルに住む 70 歳の女性は、参加するために 40 支払わなければならない。

解説

いくら支払わなければいけないか、という問題は毎年のように出題されており、基本的な料金表に加え、割引や割増に関する条件を注意深く読み落とさないようにする必要がある。まず、問題文から読み取れるこの女性の特徴を列挙すると下記になる。

- (ア) この女性はレイクビルに住んでいる
- (イ) この女性は 70 歳である
- (ウ) 第 26 回マラソンに参加した経験がある

これをもとに、支払いの項目を見てみよう。基本の料金表に注目する。この女性は特徴 (ア) より 70 歳であるので、シニアの部門に所属し、申し込み費は 15 ドル、参加費は 15 ドルである。次に料金表の下の注意書きを見つめる。第 1 項に「No application fee if you live in Lakeville!」(もしあなたがレイクビルに住んでいるならば申し込み費はいらぬ) とあり、特徴 (イ) より女性は申し込み費の 15 ドルを払わなくてよいことになり、現在残っているのは参加費の 15 ドルである。

最後に、注意書きの第 2 項に「\$5 discount if you entered either of the last two Lakeville Marathons」とある。last は「最後の」という意味で使われるが、この場合「last two Lakeville Marathons」は「最後の 2 回のレイクビルマラソン」つまり「直近 2 回のレイクビルマラソン」である。この 2 回のマラソンに参加していれば「\$5 discount」(5 ドルの割引) を受ける。特徴 (ウ) から、この女性は第 26 回のマラソンに参加しており、割引条件を満たすので 15 ドルから 5 ドル割引した 10 ドルを支払えばよいということになる。正解は①。

問 3 41 正解は④

問題文訳

ウェブサイトによれば、以下のいずれが正しいか？

解答選択肢訳

- ① 申し込み費と参加費を現金で支払うことができる。
- ② すべての問い合わせは電話で行わなければならない。
- ③ 当選したかどうかを見るためにはネットでチェックしなければならない。
- ④ レースを完走するのに 8 時間与えられる。

解説

それぞれの選択肢に関連する部分に注目すればよい。

- ①→支払いに関することであるので、支払いの項目を見る。支払いの第 1 項に「Online credit card payments only」とある。つまり「オンラインのクレジット決済のみ」であり、現金で支払うことはできないので①

は不適當である。

- ②→inquiry は「問い合わせ、質問」という意味である。問い合わせに関する部分なのでウェブサイト下部の問い合わせの部分に着目する。「For inquiries, contact: marathondesk@lkve.com」とあり、問い合わせはこのメールアドレスに連絡せよということなので、電話による問い合わせの方法については書かれていないが、メールで問い合わせが可能なので②は不適當である。
- ③→当選に関することなので、選考の項目を見る。第2項で「Applicants will receive their acceptance or rejection letter」(申し込みをした人は当選または落選を知らせる手紙を受け取る)とあり、手紙によって当選したかどうかを知ることができるので、必ずしもネットでチェックしなければならないわけではなく、③も不適當。
- ④→レース当日のところの第2項でレースが8時に始まり、16時に終わると書いてあり、その直後に「Runners who fail to finish by the designated time must stop running」(指定された時間に走り終えることに失敗したランナーは走ることをやめなければならない)とあり、つまり「指定時間内で完走できなければその人はもう走れない」という意味なので、16時以降に走ることはできない。よってレースを完走するのに8時間の猶予があるので④は正しい。正解は④である。

補足

application 「申し込み、応募」

accept 「受け入れる」

multiple 「複数の」

automatic 「自動の」

reject 「拒否、却下」

elimination 「失格、除名、削除」

lottery 「くじ」

discount 「割引」

designate 「指定する、指名する」

unfortunately 「不幸にも、残念ながら」

no more than A 「たった A だけ、わずか A」

not more than A 「せいぜい多くても A」

問1において、「no more than A」に似たものとして「not more than A」があり、よくこれら二つを混同する人がいる。not は no に比べてより客観的な否定が含意されており、「A より多くはない」ということから「せいぜい多くても A」などという意味になるが、no の場合は主観的な否定感がより強く、「A よりぜんぜん多くない」ということから「たった A だけ、わずか A だけ」などという意味になる。

(制作：松永尚也，峯岸佑奈)

2014 年度 センター試験 本試験 英語筆記

第5問

出題範囲	日記と手紙から読み解くカジュアルな文章の読解
難易度	★★★☆☆
所要時間	15分
傾向と対策	<p>2014年度の第5問は、日記と手紙文からの出題だった。問1と問2はそれぞれ祖父の日記、チトセの手紙に該当する部分があるため、その部分のみに注目すればよい。問3は、二人の文章から総合的に解かなくてはならないので少々難しかったかもしれない。また、問4は明らかにおかしい④を除き、少し選びづらい問題だった。ただ、このような物語的な文章で基本的に何が解答に求められるのかを普通に考えれば正解が選べたかもしれない。第5問全体に言えることだが、時系列に注意するとよいだろう。二人の文章で時間が前後してしまっている部分があるので、頭を整理して問題を解こう。</p> <p>また、正答率が特に低かったのは問5のイラスト問題だった。「おじいちゃんが描いたようなチトセを描いた」、つまり本来のチトセを描いたわけだが、日本人の感覚として、絵にあるようなくせ毛は生まれつきのものではないと感じてしまい、④を選んでしまった人の多かったようだ。文中にしっかり「天然のくせ毛」と書かれていることに注意して、自分の主観ではなく与えられた情報から解答を導くようにしたい。</p>

本文訳

サルバドールの日記

2012年3月30日

(S1)

私たちの最後の授業は大惨事だった。私はチトセと大げんかしてしまった。チトセはアトリエにニコニコしながらやってきて、「おじいちゃん見て、おじいちゃんの肖像画を描いたのよ」と言った。肖像画の中の男は、髪がふさふさで、しゃんと立っていて、若くて、笑っていた。チトセはフランスの美術大学に行けるだけの才能があるかもしれないが、芸術家としての大きな欠点があった。人を描くとき、本当の人物を描くのではなく、むしろ理想化された像を描くことが多すぎる。この点について数カ月間チトセに説明していたのに、どうしてもいうことを聞いてくれないんだ。私は少し腹を立てて、「これは私じゃないし、お前は本物の芸術家じゃない」とチトセに言った。チトセも怒って、私をもう先生として必要としないからどうでもいい、と言った。私はそれからせんべつ餞別として描いたチトセの肖像画を見せて、「これが本当のお前だ！」と言った。チトセはそれを一目見て、「違う！」と言い、出て行ってしまった。

(S2)

私はチトセの肖像画を、両親ならわかってくれるだろうと思って彼らに渡した。肖像画はチトセが嗜好を変え始める何カ月か前に描いたもので、私が2年間指導した高校生をよく表わしていると思う。この絵を描いた当初、チ

トセはまだストレートパーマがかかっていない、天然のくせ毛だった。お気に入りのリング状のイヤリングを含めて、今チトセが付けているアクセサリーのどれも、つけてはいなかった。その頃は化粧も一切していなかった。これこそ、まだまだ自分が芸術家としては未熟だということを自覚し、素晴らしい未来が待っていた頃のチトセの姿だった。チトセは大きくなってきていて、もっと大人のように振る舞い、大人のように見られたいと思っていることは私もわかっている。だが、チトセは大人になるということを、人の言うことを聞くのをやめることだと思ってしまうようだ。もし、学ぶことをやめてしまったら、チトセは決して偉大な芸術家になることはないだろう。

サルバドールへの手紙

2013 年 3 月 25 日

親愛なるサルおじいちゃんへ、

(C1)

遅くなっちゃったことはわかっているんだけど、最後に会ったときに起きたことについて申し訳なく思っていると言いたかったの。最後の授業のとき、私はおじいちゃんが私のことをまだ子どもだと思っていると思って、言うことを聞かなかったの。おじいちゃんが肖像画でどう私を描いたのかを見て、私の気持ちに間違いがないことを確信したわ。私はすごく傷ついて、おじいちゃんからの贈り物を受け取らずに出て行っちゃった。

(C2)

おじいちゃんは知らないと思うけど、私がフランスへ旅立つときにお母さんがスーツケースの一つにあの肖像画をこっそり入れてくれていたの。見つけたとき、私はまだ（ケンカのことを）気に病んでいて、肖像画をクローゼットの中に隠したわ。肖像画のことはしばらく考えなかったんだけど、数カ月前に偶然また見つけたの。それを見ていたら、美術の腕を磨くために人のアドバイスを聞こうとしていたチトセの姿が見えたわ。実際に私になったチトセはそれ（肖像画に描かれたチトセ）とは違うことに気がついた。今のチトセは、自分が大人だとみんなに証明したくて、他人の言うことを聞かなくなってしまうていた。それまで（気がつくまで）私は美術の授業でとても苦労していたのに、自分の弱点に気がついてからは、私はまた学び始めて、絵もずっと良くなった。おじいちゃんはいつまでも私の先生だよ。

(C3)

最後の授業のときにおじいちゃんに見せた肖像画のことを忘れていません。おじいちゃんはその気が入らなくて、私が見たとおりにおじいちゃんのことを描くように言った。あの日おじいちゃんが私に教えてくれたことを、今は理解できるわ。私は対象をありのままに描くべきで、そうすれば対象が持つ真の美しさが光り輝くのよね。

(C4)

私とおじいちゃんの肖像画を描いたので、その写真を送ります。実は、この絵は市の若手アーティスト大会で優勝したの。見てのとおり、おじいちゃんが描いたみたいに、たくさんの可能性を秘めた高校生のチトセとして私を描いたわ。おじいちゃんのこと、私が見ているとおりのおじいちゃんを描きました。しわは知恵の証拠。杖は身体的な障壁を乗り越えようとする意志を表している。曲がった腰はおじいちゃんが最も愛するもの、つまり

芸術と私、にすべてを注いだことを表しているの。おじいちゃん、ありがとう。

愛を込めて

チトセ

問1 42 正解は①

問題文訳

サルバドールはチトセに 42 ことをしてもらいたかった。

解答選択肢訳

- ① 事物をありのままの物として正しく認識する
- ② もっと芸術家らしい服装をする
- ③ 別の絵の先生を見つける
- ④ 見た目が若い人を絵に描く

解説

サルバドールの考えを聞いているので、サルバドールの日記を見る。S1 の第 5, 6 文で「she has a big weakness as an artist」(チトセは芸術家として大きな欠点を持っている)、「too often she paints an idealized image rather than the real person」(実際の人物というよりも理想化された像を描くことが多すぎる)と、チトセのことを非難している。このことからサルバドールは実際の人物を描いて欲しいと思っていることがわかる。つまり、対象を理想化するのではなく、対象のありのままの姿を描いてもらいたいのだ。

また、チトセの手紙 C2 の最後の文で「I should paint things as they actually are」(事物のありのままのすがたを描くべき)と言っている。これはチトセがサルバドールに言われたことを反省して言っていることなので、サルバドールの意見として捉えることができる。

よって、「事物をありのままの物として正しく認識する」と記述している①が正解だ。「appreciate A for B」は「A を B として正しく理解する、認識する」という意味。

- ②→「画家らしい格好をする」べきとは言っていない。服装に関しては S2 でチトセが嗜好を変え始めたところで軽く触れられているが、今のチトセの服装について残念に思っているだけで、画家らしい服を着ろと言っているわけではないので不適當。
- ③→サルバドールがチトセに「別の先生を見つけろ」と言ったわけではない。S1 で「she didn't need me as a teacher anymore」(チトセは私を先生としてもう必要としていない)とあり、「別の先生を見つける」という話ではないうえに、先生として必要としていないと言ったのはチトセであるため、③は不適當。
- ④→絵のモデルとして若く見える人を描けといったのではない。サルバドールのことを実際とは違って若々しく描いたことを怒っていたのであり、対象の見た目については言及していない(対象が何であれありのままに描けばよいのだ)。

問 2 43 正解は③

問題文訳

最後の授業でチトセがその肖像画を受け入れなかったのは、彼女が 43 と思ったからである。

解答選択肢訳

- ① 自分よりも家族の方が絵を正しく理解するだろう
- ② 家族が自分の嗜好を気に入らないだろう
- ③ おじいちゃんが自分のことを大人として尊重していなかった
- ④ おじいちゃんはあまり優れた画家じゃない

解説

「その肖像画」とはサルバドールが^{せんべつ}賤別にチトセに描いた肖像画のことである。チトセがこの肖像画を受け取らなかったことについてはC1に書いてある。C1の第2文から第4文にかけて、チトセが肖像画を受け取らなかったのは、「おじいちゃんがチトセのことをまだ子どもとして見ていた」ことが肖像画からわかり、傷ついたからだと言っている。「still saw me as a kid」(いまだに子ども扱いしている)を、「did not respect her as an adult」(大人として尊重しない)で言い換えていることに注目できるとよい。よって、正解は③となる。

- ①→サルバドールの日記のS2の第1文で、チトセの両親なら肖像画を理解してくれるだろうと思ってそれを彼らに渡したと書いてある。しかし、これはサルバドールの考えであってチトセの考えではないので不適當。
- ②→家族がチトセの嗜好(ストレートパーマをかけ、アクセサリーを身に着け、化粧をする)を気に入らないと言っている部分はない。チトセの嗜好を批判的に見ているのは、サルバドールである。
- ④→チトセが祖父の画力を否定している記述はないので、不適當。

問 3 44 正解は②

問題文訳

以下のどれが正しいか？

解答選択肢訳

- ① チトセはサルバドールが描いた肖像画を両親にあげた。
- ② チトセは手紙を書く前に新しい肖像画を描いた。
- ③ チトセの肖像画を描くのにサルバドールは2年もかけた。
- ④ サルバドールはチトセが容姿を変えてから肖像画を描いた。

解説

この問題は二つの文章全体を踏まえて考えなくてはならない。

新しい肖像画とはチトセがC4で言っている肖像画のことである。「I've painted a portrait of you and am sending you a photo of it」と言っていることから、肖像画を描く→写真を撮り手紙に同封、という流れがわかる。新しい肖像画は大会で優勝しているともあるので、絵を描いてからしばらく時間が経っていることもわかるし、肖像画の解説もしていることから、絵を描いたのは手紙を書く前だったとわかる。よって、正解は②となる。

- ①→S2 で「I gave the portrait of Chitose to her parents」(私はチトセの肖像画を両親に渡した) とサルバドールが言っている。また C2 では「Mom secretly put the portrait into one of my suitcase」(お母さんがこっそり肖像画をスーツケースの一つに入れておいてくれた) とある。このことから、まずサルバドールが肖像画をチトセの両親にあげ、そのあとチトセの母親がチトセに肖像画を渡したことがわかる (サルバドール→両親→チトセの順に肖像画が渡る)。よって、①は不適當。
- ③→「2年間」とは、サルバドールがチトセに絵を教えていた期間のことだ。S2 で「I had done the portrait a couple of months before Chitose started changing her style」(肖像画をチトセがスタイルを変える数カ月前に描いた) とあり、2年かけたという記述は無い。
- ④→③の解説にある通り、S2 に「I had done the portrait a couple of months before Chitose started changing her style」とあり、肖像画はチトセがスタイルを変える数カ月前には書き上げていたことがわかるので不適當。

問 4 45 正解は②

問題文訳

チトセの絵が良くなった理由として最も考えられるのは何か？

解答選択肢訳

- ① 彼女は大会に出ることであくさんのことを学んだ。
 ② 彼女は他人の考え方をまた聞き入れるようになった。
 ③ 彼女は化粧をしたり、イヤリングをするのをやめた。
 ④ 彼女は他の大人の意見に影響を及ぼそうとした。

解説

チトセの絵が良くなったという記述は C2 の第 4 文から始まる。「自分の絵を上達させるために他人の話を聞こうとしていた高校時代の自分」をおじいちゃんの肖像画を見て思い出し、今の自分が変わってしまったことに気がついた。大人ぶって、人の話を聞かなくなっている自分を反省し、また学ぶことを始めたら、絵がずっと良くなったと言っている。このことからチトセの絵が良くなった理由が「人の話を聞こうとする態度を取り戻した」からだとわかる。よって、②が正解となる。

- ①→C4 で彼女の絵が大会で優勝したとあるが、そのことで彼女の絵が上達したとは考えにくい。大会に優勝できたのは、絵が良くなった結果だ。
- ③→化粧をしたりイヤリングをしたりしていたことは、確かに大人ぶってスタイルを変えたときのチトセの容姿を説明しているが、外見を大人っぽくするのをやめたことで絵が上達したとは記述にない。態度を改めたことで絵が良くなったのであり、外見を変えたかどうかには触れられていない。
- ④→「大人の意見に影響を及ぼす」ではなく、「大人の意見を自分の絵に反映させる」ことが大切とあるので、不適當。

問 5 46 正解は①

問題文訳

チトセが祖父に送った写真に写っている肖像画の説明に最も合致しているものは以下のイラストの中のどれか？

解説

チトセが祖父に送ったのは新しい肖像画の方なので、C4 に注目しよう。C4 の第 2 文目で「As you can see, I've painted myself like you did, as Chitose the high school student with a lot of potential」とあることから、チトセは自分自身を祖父が描いたような高校の時の姿で描いた。そこで、サルバドールが描いたチトセの肖像画の説明を見る。これは S2 の第 3 文目以降にある。

- (ア) 髪は天然のくせ毛
- (イ) アクセサリーはつけていない
- (ウ) 化粧をしていない

次に祖父のことをどう描いたかだが、これは C4 の第 3 文目以降に「I've painted you as I really see you」(私が見た通りのおじいちゃんを描いた) とある。

- (エ) しわが多い
- (オ) 杖をついている
- (カ) 腰が曲がっている

以前チトセが描いたサルバドールの肖像画では、「髪がふさふさで、背筋が伸びていて、若くて、笑っている男が描かれていた」と、S1 の第 4 文目にある。そしてサルバドールはこの絵を見て、現実を理想化していると非難していたことから、現実のサルバドールの外見として以下の要素が推測される

- (キ) 髪の毛は薄い
- (ク) 笑っていない

ただし、この二つの要素を抜きにしても答えを導けるので考えなくてもよいだろう。

以上より、(ア)～(ウ)、(エ)～(カ) に注意してみれば、正解は①の絵とわかる。

②→サルバドール = しわが少ない(エ)、腰が曲がっていない(カ)、髪が多い(キ)、笑っている(ク)。チトセ = アクセサリーをつけている(イ)、化粧をしている(ウ) なので、不適當。

③→サルバドール = しわが少ない(エ)、杖を突いていない(オ)、腰が曲がっていない(カ)、髪が多い(キ)、笑っている(ク)。チトセ = 髪がストレート(ア)、アクセサリーをつけている(イ)、化粧をしている(ウ) なので不適當。

④→チトセ = 髪がストレート(ア) なので、不適當。

文章を読み始める前に問題に一度目を通し、肖像画の絵柄について聞いていることがわかったら、文を読みながら絵柄の特徴の部分に線を引きながら読むなどしていくと、問題を解くのに時間がかからずに済む。

補足

disaster 「ひどいもの、災害」

grandpa 「おじいちゃん」

fight 「口論、喧嘩、激論」

portrait 「肖像画」

straight 「まっすぐに、直立して」	closet 「物置、押入れ」
weakness 「弱点、欠点 (= weak point)」	by chance 「偶然に、思いがけなく」
idealized 「理想化した (ideal = 理想)」	prove 「はっきり示す、立証する」
A rather than B 「B よりもむしろ A」	struggle 「もがく、あがく」
care 「気遣う (否定文で) 気にしない、かまわない」	make sense 「意味がわかる」
anymore 「もはや、これ以上」	competition 「コンクール、コンテスト」
farewell 「お別れの」	potential 「可能性」
appreciate 「正しく判断する、認める、～をありがたく思う」	wrinkle 「しわ」
curly 「巻き毛の」	proof 「はっきりと示すもの、証拠」
perm 「パーマ」	cane 「杖」
makeup 「化粧」	overcome 「乗り越える (克服する)」
amateur 「未熟な」	physical challenge 「(生活、行動面の) 障害」
confirm 「間違いのないことをはっきりさせる」	bent 「曲った」
upset 「混乱して」	pour 「注ぐ」

「a Chitose」と「the Chitose」の違い

a Chitose : 大人のふりをしているチトセとは違って、高校生時代のチトセという、別の人格を持った一人の人間を指すため **a** をつける。また、肖像画の中の人物を指しているため、肖像画を見ているチトセと区別し、客観的に分析するために **a** をつける。

the Chitose : 私がなってしまった、大人として見られたい。ある特定の時期のチトセを限定して指すため、**the** をつける。前文に「I saw a Chitose」とあり、それと対比させるためにこの表現を用いている。

(制作：松永悠希，日笠航希)

2014 年度 センター試験 本試験 英語筆記

第6問

出題範囲	専門的な音響技術に関する長文の読解
難易度	★★★★☆
所要時間	16分
傾向と対策	<p>2014年度の第6問は、基本的に段落ごとに読んで問題を解いていけば混乱することは少ないはずである。問題文は音楽と音響装置の関係に関する文章だったが、音響技術の用語が多数使用されていた。audiophiles や fidelity など見慣れない単語が内容の中心になっているが、それぞれの用語の説明は文章中に書かれているので、それら説明をきちんと理解する必要があるだろう。比較的長い文が多く、内容を集中して読み取ることが難しかったかもしれない。この場合は、段落の最初の一文がその段落で述べられることを示している場合が多いので、これを念頭に入れながら読むとよいかもしれない。また、段落の内容を把握することはBの問題を効率良く解くことにもつながる。</p> <p>Bに関しては、選択肢で迷うことがあるかもしれないが、解説にあるように段落の内容をちゃんと把握すれば解答にたどり着く。一つひとつの段落に対して、選択肢をよく吟味し、間違っている部分や文章中には書かれていないことが含まれる選択肢を落ち着いて消去していけば解答は可能なはずである。</p>

本文訳

聴くことの利便性と音質：他に重要なことはあるのか？

- (1) 1877年、トーマス・エジソンは、音を記録し再生することができる新しい装置、蓄音機を発明した。初めて人々はフルオーケストラの演奏を自宅で手軽に楽しむことができるようになった。数年後、ベル研究所はより良い音質を提供する新しい蓄音機を開発した。それは声や楽器がより鮮明に、よりリアルに聞こえるようになっていた。これらの初期の製品は音響技術の発展における二つの主要な焦点を象徴している。すなわち、聴くことをより容易にすることと、私たちが耳にする音楽の音質を向上させることである。どちらの領域も長年にわたる発展は目覚ましいが、こうしたすべての技術の中で音楽そのものが失われないようにすることは大切なことである。
- (2) 蓄音機によって音楽を聴くことははるかに便利になったが、それは始まりに過ぎなかった。1920年代のカーラジオの導入は、音楽を路上でも楽しむことができることを意味した。携帯型音楽プレーヤーに対する関心は1980年代、聴く人が外で歩いているときにもヘッドホンを通じて音楽を楽しむことを可能にしたパーソナル音楽プレーヤーの発展とともに、真に高まり始めた。最近では、私たちは小さなデジタルプレーヤーの中に何百もの音楽アルバムを持ち運び、それらを小さなイヤホンで聴くことが可能となっている。
- (3) 私たちが音楽を楽しむことに影響を与えているもう一つの要素は、その音質である。1950年代に、「ハイファイデリティ」(high fidelity) あるいは略して「ハイファイ」(hi-fi) という単語が、可能な限り最高の音再生品

質を提供する録音および音響装置を宣伝する会社によって広く使われていた。フィデリティ (fidelity) という単語は、真実性を意味するが、元の演奏に可能な限り近いような音楽の録音と再生のことを言う。私たちが目を閉じて録音された交響曲を聴いたときに、まるでコンサートホールにいるように感じるのが理想的である。1950年代から続く技術発展は、聴く人がハイフィデリティという目標にかなり近づくことができるような現代の録音技術と再生装置という結果につながった。

- (4) 今日、電器店に足を踏み入れると、消費者は驚くほどさまざまな音響技術を目の当たりにする。携帯用システムを探している人は、いろんな色、形、大きさをした何百もの異なる種類のイヤホン、ヘッドホン、そしてデジタルプレーヤーから選ぶことができる。オーディオ・マニアハイフィデリティを最も優先する音楽ファンのために、店の中に、通常高い値段がついているCDプレーヤーやアンプのようなさまざまな大型スピーカーや重装備なコンポを別の売り場で取り揃えている。これらすべての技術とこんなにも多くの選択肢に直面したとき、音楽ファンはしばしば、自分たちが音楽を聴く際のニーズに合った機器に関する調査や決断に、多大な時間を費やす。
- (5) 機器を買ったあとでさえも、音響技術の進歩は、消費者の注目を音楽それ自体から逸らし続けることがある。便利な携帯用システムによって、人々が公園でのジョギングや会社への通勤など、何か他のことをしている間にも音楽を聞くことが可能になった。このような状況では、音楽は背景の雑音によって部分的に聞こえない可能性があり、聴く人が音楽にあまり集中できないようになっている。また他の場合では、オーディオ・マニアが最高水準のフィデリティを達成するために、彼らのコンポの組み合わせをテストしたり調整したりするのにかなりの時間とエネルギーを費やすかもしれない。
- (6) こんなにも多くの技術が利用できる中で、実際に音楽を聴くことは二の次と感じられるときもあるかもしれない。私たちは幸運にもお気に入りの音楽の録音を通勤電車に持って行くことができるが、もし私たちが、他のところに気を取られているときに音楽を聴いていたら、その音楽の力の多くを感じ取れなくなる。同じように、高品質な装置に手が届くことは良いことではあるが、もし私たちが完璧なフィデリティを達成することを気にしすぎたら、技術そのものが私たちと音楽の間に介入してくる。音楽は驚異的で力強い芸術の形態で、おそらく最も大事なことは時間を取って、腰を据えてそして私たちが聞くものの良さを味わうことだろう。エジソンとその他発明家の才能のおかげで、音楽の美は今まで以上に手の届くものとなった。一度立ち止まって本当の意味で聴くことができるかどうかは私たち次第であるのだ。

A

問1 47 正解は④

問題文訳

段落(1)によれば、ベル研究所の蓄音機はトーマス・エジソンのそれよりも 47 ことができる。

解答選択肢訳

- ① 速く、安価に製作する
② 簡単に操作する

- ③ 多くの楽器を演奏する
- ④ リアルに音を再生する

解説

段落(1)にあるベル研究所が開発した蓄音機に関する説明中で、「Bell Laboratories developed a new phonograph that offered better sound quality; voices and instruments sounded clearer and more true-to-life.」の下線部のように、ベル研究所の蓄音機は「より良い音質」「声や楽器がよりリアルに聞こえる」など、音の再生面でエジソンの蓄音機よりも高水準を達成していることから、この記述に合致する選択肢は④である。

問 2 48 **正解は①****問題文訳**

段落(3)において、筆者は、今日の最高の音響装置は 48 と示唆している。

解答選択肢訳

- ① ほとんどライブコンサートと等しい音質を再現する
- ② 最高のコンサートホールで生演奏するのに使われている
- ③ 録音された音楽が元の演奏よりも良く聴こえるようにする
- ④ 1950年代の素晴らしい演奏を再現する

解説

段落(3)は冒頭の文で「Another factor affecting our enjoyment of music is its sound quality」とあり、この段落は主に音響装置による音質についての話である。第4文目に「Ideally, if we listen to a recorded symphony with our eyes closed, we feel as if we were in a concert hall」(音響装置を用いて流した音楽は理想的にはまるでコンサートホールにいるように聴こえる)とある。また、第5文目には「modern recording techniques and playback equipment that allow listeners to come very close to the goals of high fidelity」には、現代の音響装置で流された音楽はハイファイデリティ、つまりかなりリアルな演奏に近い形で聞こえる水準まで発展していると書かれている。これらの記述から、筆者が今日最高の音響装置に関して述べていることは①となるので、これが正解。②、③、④はいずれも段落(3)の中で述べられている部分が無いので不適當である。

問 3 49 **正解は①****問題文訳**

段落(4)によれば、オーディオ・マニアは 49 人である。

解答選択肢訳

- ① 音楽の再生の質をととても気にする
- ② 良いコンサートホールで、交響楽団で演奏をする
- ③ 録音された演奏よりもライブコンサートを好む
- ④ 最高の音響装置を販売する店で働く

解説

段落(4)において、audiophiles に関する説明の部分で「music fans who see high fidelity as a priority」とある。彼らは「ハイファイデリティを最優先事項とする音楽ファン」であり、音楽を音響装置によっていかにリアルに再現するかをとっても重視する人たちである。よって、この説明に合致する適切な選択肢は①である。②、③、④はいずれもオーディオ・マニアの説明とは合致しないので不適当。

問4 50 正解は③

問題文訳

段落(5)によれば、以下のいずれが正しいか？

解答選択肢訳

- ① 背景の物音はしばしば人々が音楽に集中するのに役立つ。
- ② 携帯用オーディオシステムは背景の物音を作り出す傾向がある。
- ③ ハイファイシステムを設置するには多大な労力を要するときがある。
- ④ 人は忙しければ忙しいほど、音楽の良さをより味わう。

解説

- ①→段落(5)の中で「music may be partly lost in background noise, making it hard for the listener to concentrate on it」の下線部のように音楽は「背景の物音によって部分的に失われ」「聴く人は集中しにくい」とあるので、背景の物音の人々が音楽を聴くのに集中することに役立つとは考えられず、不適当である。
- ②→背景の物音を作り出すのはポータブルオーディオシステムではなく、第2文の「while doing something else」(何か他のことをやっている間)に周囲の環境がもたらすものであるため、②のような事実は見られず不適当である。
- ③→最終文でオーディオ・マニアが高音質を達成するために音響装置の調節に多大な時間とエネルギーを費やすと述べられており、これは選択肢③の記述と一致しているため正解である。
- ④→①と同様に、何か他のことをやっている間は音楽に集中しにくいので、音楽をより正当に評価することができるとは言い難い。よって、④は不適当。

問5 51 正解は③

問題文訳

段落(6)での筆者の要旨は 51 である。

解答選択肢訳

- ① オーディオ・マニアは携帯機器で音楽を聴くことを楽しむ傾向があるということ
- ② 音響装置を買うに当たって、利便性は重要な要素であるということ
- ③ 技術にかかわらず、音楽は最も優先的に考慮すべきことであるということ
- ④ 携帯機器はハイファイデリティ装置に取って代わる可能性があるということ

解説

段落(6)では、まず前半で「音楽が二の次となっている」「音楽の力の多くを感じ取れなくなっている」「技術が私たちと音楽の間に介入してくる」など、技術を重視するあまり音楽そのものがないがしろにされているという問題を提起している。そして後半で、「時間を取って腰を据えて私たちが聴くものの良さを味わうことが大切である」「本当の意味で聴くかどうかは私たち次第だ」など、本来の音楽を「聴く」ということに対する再認識を呼びかけている。この内容と最も合致する選択肢は③ということになる。

①→段落(6)でオーディオ・マニアに関する記述は存在しないので不適当である。

②→「although it is good to have access to high-quality equipment」と、ハイファイデリティの音響装置が手に届くところにあることは良いことだと認めつつも、その直後でフィデリティを重視しすぎると技術が介入してくるという悪影響を示唆しており、便利性がこの段落で筆者が最も言いたいこととは決めがたい。

④→このような事実は段落(6)で述べられていないので不適当である。

B

52 正解は①

53 正解は④

54 正解は②

55 正解は③

段落	内容
(1)	音響技術の二つの目標
(2)	52
(3)	ハイファイデリティの概念
(4)	53
(5)	54
(6)	55

解答選択肢訳

- ① 音楽鑑賞の利便性の進歩
- ② 音楽を聴く人たちの関心の的に関わる懸念
- ③ 音楽に最大の注意を向ける価値
- ④ 販売されている音響製品の幅広い選択

解説

段落(2)では冒頭の文で蓄音機が音楽鑑賞を便利にしたと述べられ、その後 1920 年代のカーラジオの登場、1980 年代のパーソナル音楽プレーヤーの開発、今日の小型デジタルプレーヤーに関することが書かれており、この内容に最もふさわしい選択肢は①となる。

段落(4)では、電器店にさまざまな音響装置の種類が置かれていて、さらにはオーディオ・マニア向けの製品もあるという記述から、適当な記述として④を選ぶことができる。

段落(5)と段落(6)で迷った人がいるかもしれない。(5)と(6)ではどちらも音楽を鑑賞する姿勢に対する懸念が述べられている。しかし、(6)にはさらにそれに加え、一度落ち着いて音楽を本当の意味で聴くことの大切さが述べられており、よって段落(6)に合う選択肢は③がふさわしく、段落(5)は②が適当である。

補足

invent 「発明する」	need 「需要」
device 「装置」	adjust A 「A を調整する」
record 「記録する, 録音する」	secondary 「二次的な」
play back 「再生する」	issue 「問題」
for the first time 「初めて」	likewise 「同じように」
in the convenience of A 「A という便利な環境で」	thanks to A 「Aのおかげで」
phonograph 「蓄音機」	up to A 「A 次第である, A にかかっている」
significant 「重大な」	operate 「操作する」
take off 「(事が) うまくいき始める, 軌道に乗る」	portable 「携帯型の, ポータブル」
symphony 「交響曲」	primary 「主要な, 最も重要な」
in a range of A 「A の範囲で」 転じて 「いろんな A の」	appreciate 「正しく理解する, 鑑賞する, 正しく評価する, 感謝する」
feature A 「A を呼び物にする, A を特集する」	※文脈による意味の判断が必要とされる単語なので 一対一対応で意味を覚えるのは危険
component 「部品, (ステレオの) コンポ」	
amplifier 「アンプ, 拡声器」	
a great deal of A 「多大な A」	

(制作：松永尚也, 松永悠希)